Antenna House PDF Driver V8.0 製品説明書

目次

Antenna House PDF Driver V8.0 製品説明書 1

1． Antenna House PDF Driver について 4

1.1． Antenna House PDF Driver 4

1.2． 付属 API 4

1.3． その他のツール 5

1.3.1． プリンターの追加と削除ツール 5

1.4． V8.0 の新しい機能 5

1.4.1． PDF2.0 形式の出力 5

2． 動作環境・開発環境 6

2.1． 動作環境 6

2.2． 開発環境 6

3． 説明書について 7

4． PDF Driver のインストール 8

4.1． PDF Driver のインストール方法 8

4.1.1． インストールを実行する前の注意事項 8

4.1.2． インストール手順 8

4.2． PDF Driver のアンインストール方法 9

4.2.1． アンインストールを実行する前の注意事項 9

4.2.2． アンインストール手順 9

5． ライセンスファイルについて 10

5.1． ライセンスファイル名 10

5.2． ライセンスファイルの場所 10

5.3． 正規利用方法 10

5.4． 保守期限と PDF Driver の動作について 10

5.5． ライセンスファイルの入れ替えについて 10

5.6． ライセンスファイルの削除 11

6． 制限事項 12

6.1． 付属 API の制限事項 12

6.2.　PDF Driver の制限事項 13
6.3.　Office アドイン機能の制限事項 15
7.　旧バージョンとの違い 17
7.1.　PDF Driver について 17
7.1.1.　プリンター名、プリンターモデル名 17
7.1.2.　設定ファイルの拡張子 17
7.1.3.　機能 17
7.1.4.　動作環境 19
7.1.5.　開発環境 19
8.　商標と著作権情報 20
8.1.　商標情報 20
8.2.　第三者製ライブラリー著作権情報 20
履歴 24

1．Antenna House PDF Driver について

『Antenna House PDF Driver』は、『Antenna House PDF Driver』（PDF Driver）と、PDF Driver を制御する『付属 API』で構成されています。

1.1． Antenna House PDF Driver

『Antenna House PDF Driver』（PDF Driver）は、Windows の Graphics Device Interface（GDI）コンポーネントを利用して動作する仮想プリンタードライバーです。紙に印刷するプリンターと同様、アプリケーションの印刷ダイアログで PDF Driver を選択して印刷ができます。出力結果が紙ではなく、PDF ファイルとなります。

1.2． 付属 API

『付属 API』は、PDF Driver の出力先を制御する『出力先指定 API』と印刷設定を制御する『設定編集 API』の 2 種類です。それぞれ独立した API です。自前で開発する印刷処理に組み込み、PDF を出力するプログラムを作成することができます。

対応しているプログラム言語は、C++（出力先指定 API、設定編集 API）、,NET Framework（4.6.2 以降）（出力先指定 API のみ）です。

	出力先指定 API	設定編集 API
形態	DLL	DLL
API	・C++ ・.NET Framework（4.6.2 以降）	・C++
32/64bit	32bit 用、64bit 用それぞれにモジュールファイルがあります。	32bit 用、64bit 用それぞれにモジュールファイルがあります。
動作環境に必要なソフトウェア	Antenna House PDF Driver V8.0	Antenna House PDF Driver V8.0
PDF 出力が可能なファイル形式	制限はありません	制限はありません
おもな機能	・PDF Driver の出力先となるファイルパスの指定 ・印刷設定ファイルの指定	・PDF Driver の印刷設定の編集 ・編集した設定の保存

1.3.　その他のツール

1.3.1.　　プリンターの追加と削除ツール

モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるプリンターの追加と削除を行うツールです。

付属 API を利用して PDF 出力を行うプログラムを複数のプロセスで同時に実行するようなケースにおいて、あらかじめ本ツールでプリンターを追加してください。

1.4.　V8.0 の新しい機能

1.4.1.　PDF2.0 形式の出力

PDF Driver V8.0 では、新たに PDF バージョン「2.0」（PDF2.0）の出力に対応しました。

「PDF2.0」では、セキュリティ設定のパスワードにユニコードの文字列の指定が可能です。

２. 動作環境・開発環境

２.１.　動作環境

PDF Driver と各 API は、下記の環境で動作します。

- 対応 OS

Microsoft Windows Server 2025 / 2022　日本語版

Microsoft Windows 11 / 10　日本語版

※ ただし、印刷を行うソフトウェアの動作環境に準じます。

- 必要なライブラリー

Microsoft Visual C++ 2015-2022　再頒布パッケージ ※1

Microsoft .NET Framework 4.6.2 以降 ※2

※1　必須です。

※2　.NET Framework API を利用する場合必要です。

- 必要なソフトウェア

Antenna House PDF Driver V8.0

２.２.　開発環境

PDF Driver と付属 API は、Microsoft Visual Studio 2015 で開発しています。

３．説明書について

以下の説明書を用意しています。

説明書名（ファイル名）	内容
Antenna House PDF Driver V8.0 製品説明書（AHPDFDriver80_製品説明書.pdf）（本書）	製品全般の説明書
Antenna House PDF Driver V8.0 付属 API 説明書（AHPDFDriver80_付属 API 説明書.pdf）	付属 API についての説明書
Antenna House PDF Driver V8.0 プリンターの追加と削除ツール説明書（AHPDFDriver80_プリンター追加削除ツール説明書.pdf）	PDF Driver V8.0 のプリンターの追加と削除ツールについての説明書

４．PDF Driver のインストール

PDF Driver のインストール、アンインストールについて説明します。

付属 API を利用する場合も PDF Driver のインストールが必要です。

４．１． PDF Driver のインストール方法

４．１．１． インストールを実行する前の注意事項

- インストールは、管理者権限を持つユーザーがログインしている環境で行ってください。
- インストールを行う環境において、すべての印刷が終了していることを確認してください。
- インストールを行う環境において、すべてのアプリケーションが終了していることを確認してください。

４．１．２． インストール手順

(1) PDFDriver_setup フォルダにある AHPDFDriver80_setup.exe をダブルクリックするなどして起動します。

(2) ダイアログが表示されますので、指示にしたがってインストールを実行します。

(3) インストールの途中に、Microsoft Visual C++ 2015-2022 再頒布パッケージのインストーラが起動する場合があります。起動した場合は、指示にしたがって必ず再頒布パッケージをセットアップしてください。

(4) インストールが完了すると、「コントロールパネル」の「デバイスとプリンター」に「Antenna House PDF Driver 8.0」のプリンターアイコンが表示されます。

(5) デフォルトのインストール先フォルダパスは下記です。

{システムドライブ}:¥Program Files¥Antenna House¥PDF Driver 8.0

※1

インストール終了後、システムの再起動が促される場合があります。

※2

PDF Driver を複製している場合、改訂版にて上書きインストールを行うと複製したプリンターは削除されます。上書きインストール後、再度、プリンターを複製してください。上書きインストール前と同一のプリンター名で複製すると、プリンターが選択する設定ファイルは上書きインストール前と同じものになります。

4.2. PDF Driver のアンインストール方法

4.2.1. アンインストールを実行する前の注意事項

- アンインストールは、管理者権限を持つユーザーがログインしている環境で行ってください。
- アンインストールを行う環境において、すべての印刷が終了していることを確認してください。
- アンインストールを行う環境において、すべてのアプリケーションが終了していることを確認してください。

4.2.2. アンインストール手順

(1) 「コントロールパネル」の「プログラム」 - 「プログラムと機能」を開きます。

(2) プログラム一覧にある「Antenna House PDF Driver V7.5」を選択します。

(3) 「アンインストール」をクリックし、指示にしたがってアンインストールを実行します。

※ アンインストール終了後、システムの再起動が必要となる場合があります。

5．ライセンスファイルについて

5.1． ライセンスファイル名

ファイル名：ahpdfdriver.lic

5.2． ライセンスファイルの場所

PDF Driver V8.0 のインストールフォルダ

5.3． 正規利用方法

ライセンスファイルは、PDF Driver のインストーラによりインストールされます。

インストールされるライセンスファイルは、インストール後 30 日間有効な評価用ライセンスです。

製品ご購入後、弊社からライセンスファイルを送付します。このライセンスファイルに入れ替えることにより、正規利用できるようになります。

5.4． 保守期限と PDF Driver の動作について

ライセンスファイルには、保守契約期間情報があります。

保守契約が有効である間にリリースされた改訂版については、アップデートしてご利用いただけます。

保守期間終了後も、それまでと同様にご利用いただけます。

ただし、保守契約終了後にリリースされた改訂版については、アップデートしてご使用になると PDF Driver は評価版として動作します。このため、出力される PDF のページには評価用透かし文字列が挿入されます。

最新の改訂版を正規利用するには、保守契約の更新をご検討ください。

5.5． ライセンスファイルの入れ替えについて

評価版から正規版に移行する場合や保守契約を更新した場合、弊社から新しい正規のライセンスファイルを送付します。

新しいライセンスファイルに入れ替え、ご利用ください。

ライセンスファイルの入れ替えは、PDF Driver V8.0 あるいは付属 API を利用するプログラムが実行されていないときに行ってください。

ファイル入れ替え後にコンピュータの再起動は必要ありません。

5.6. ライセンスファイルの削除

PDF Driver のアンインストーラによりライセンスファイルは削除されます。

6. 制限事項

6.1. 付属 API の制限事項

1. 付属 API は、PDF Driver の出力先の指定や印刷設定を編集る API です。印刷を行うアプリケーションの印刷処理は制御しません。印刷を行うアプリケーションの仕様によっては、付属 API で出力先を指定していても PDF Driver のファイル保存ダイアログが表示されるなど、期待される動作と異なる場合があります。
2. PDF Driver V8.0 は、PDF Driver V7.5 以前の付属 API では制御できません。
3. PDF Driver V8.0 の付属 API では、PDF Driver V7.5 以前の PDF Driver を制御することはできません。
4. 付属 API を利用して印刷を行うプログラムが動作している環境では、付属 API 以外から PDF Driver V8.0 が使用されないようにしてください。
5. プログラムで「通常使うプリンター」を変更し、Windows API の「ShellExecute」などを使用してファイルに関連付けられたアプリケーションで印刷させる場合、印刷ジョブが投入される前に他のスレッドから「通常使うプリンター」が変更されると、アプリケーションが変更されたプリンターを使ってしまうため、プログラムでは期待通りの印刷処理が行われません。アプリケーションが使用するプリンターを外部から指定できる場合を除き、「通常使うプリンター」の変更から印刷ジョブが投入されるまでの処理は、セッションレベルで CriticalSection に入れる必要があります。
6. **付属 API を利用して印刷を行うプログラムが、ひとつのユーザー環境で複数同時に動作する場合は、あらかじめ、モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるプリンターを複数個用意してください。**プログラムでは、印刷処理実行前に「SelectPrinter」によるプリンター選択処理を行ってください。
7. **付属 API を利用した複数スレッド構成のプログラムにおいて各スレッドで印刷を行う場合、あらかじめ、モデル名が「Antenna House PDF Driver 8.0」であるプリンターを複数個用意してください。**プログラムでは、印刷処理実行前に「SelectPrinter」によるプリンター選択処理を行ってください。
8. 付属 API を利用した複数スレッド構成のプログラムにおいて各スレッドで印刷を行う場合、１つのスレッドに１つのプリンターを割り当てて印刷を行うようにしてください。
9. **１つのスレッドから同時に２つの印刷処理が行われないよう、制御する必要があります。**たとえば、

```
{
   ...省略...
   int job1 = StartDoc(printerDC1,&docinfo1);
   int job2 = StartDoc(printerDC2,&docinfo2);
   ...印刷...
   EndDoc(printerDC1);
   EndDoc(printerDC2);
}
```

のように、１つのスレッド内で２つ以上同時に印刷を行うと、プリンタードライバーは正常に動作しません。

6.2. PDF Driver の制限事項

1. PDF Driver の出力結果は、オペレーティングシステム（OS）の種類やバージョンや更新、印刷を行うアプリケーションの更新やバージョンアップにより、出力 PDF の内容が更新／バージョンアップ前の結果と異なる、あるいは元文書のレイアウトやデザインと異なる、PDF 変換できない、Office アドイン変換のオプションが効かない、印刷速度が遅くなるなど印刷品質に影響が出る場合があります。
2. Adobe Acrobat などの PDF ビューアから PDF Driver を指定し印刷する動作、および印刷結果である PDF ファイルについては保証されません。
3. PDF Driver は印刷アプリケーションの動作に依存します。このため、停止しないで動作することは保証していません。停止が問題になるようなサービス等では、上位システムでエラーや停止時の対処また負荷分散などの機能を組み込まれる事を推奨いたします。
4. 印刷処理速度や消費メモリ、出力結果の PDF などについて、特定の性能や品質を保証するものではありません。Adobe Acrobat や Adobe Acrobat の「Adobe PDF」を含む他社製品の PDF 生成ソフトウェアと同等の品質や性能を保証するものではありません。
5. PDF Driver はネットワークプリンターとしてご利用いただくことはできません。
6. １つのスレッドから同時に２つ以上の印刷を行うようなしくみのアプリケーションにおいて 2 つ以上のファイルを同時に PDF Driver に対して印刷すると PDF Driver は正しく動作しません。
7. 保存ダイアログで「キャンセル」を行った場合、PDF Driver は印刷処理を続行します。最後に PDF ファイルを出力しないことで「キャンセル」とする動作仕様となっています。このため、印刷内容によりキャンセルされるまでに時間がかかる場合があります。
8. PDF Driver V8.0 で印刷中にエラーが発生し印刷が中止された場合、PDF Driver V8.0 用の一時フォルダ「C:¥Users¥ ログインユーザー名¥AppData¥Local¥Temp¥AHPD80_temp」に拡張子「.tmp」のファイルが残る場合があります。
9. Windows のプリンター一覧に表示されるプリンター名を変更しないでください。一部の機能が正常に動作しなくなるおそれがあります。
10. PDF Driver を使用した場合に作成可能な PDF バージョンは、PDF1.3～PDF1.7 と PDF2.0 です。
11. 縦書きや文字が回転されている場合、フォントを埋め込む設定で印刷を行ってください。PDF にフォントが埋め込まれていないとき、文字が元文書とは異なる方向に回転したり、表示位置がずれる場合があります。
12. 縦書き文字の出力対応は、MS ゴシックと Arial Unicode MS を基準としています。
13. 対応フォントは、True Type、Open Type、Type1 フォントです。Windows で使用可能なフォント以外については動作保証されません。また、フォントの仕様に沿っていないフォントについては動作保証されません。
14. Open Type Font では、フォントによって縦書き記号が回転する場合があります。
15. Open Type Font をフォント作成ツール「FontForge」で True Type Font に変換したフォントは正しく変換されません。
16. 透過画像や図形が含まれているとき、出力された PDF では黒く塗りつぶされた表示になる場合があります。
17. 透過画像や図形が含まれているとき、PDF/A や PDF/X 設定時に PDF が出力されない、あるいは、ファイルサイズが 0KB である PDF ファイルが残る場合があります。
18. 画像や図形のグラデーションやパターンが元文書の通りに変換されない場合があります。
19. Excel ファイルにおいて、「ページ設定」の印刷品質（解像度）設定値の変更を行った場合、出力される PDF ファイルの結果が印刷プレビューと異なり、行やページが増減する場合があります。PDF

Driver で出力する場合、あらかじめ、PDF Driver を選択した状態でシートのレイアウトを行ってください。

20. プリンターが出力するときのピクセル数は、「用紙サイズ（インチ換算）×解像度」で決まります。この値が非常に大きくなる設定のときに、印刷が行われず PDF ファイルが出力されない場合があります。そのような場合は、用紙サイズを小さくするか、あるいは、解像度を低い値に設定してください。設定値の目安は、「用紙サイズ（縦）×解像度」あるいは「用紙サイズ（横）×解像度」が 16bit の上限である「65535」より小さくなる値です。（参考：3600 dpi なら約 460mm、600 dpi なら約 2750mm が上限値となります）
21. PDF Driver は、Modern UI に対応していません。Modern UI を持つソフトウェアから印刷を行った場合、ユーザーインターフェースが期待される動作をせず、ファイル保存ダイアログはデスクトップ上に表示されます。
22. PDF Driver は、Windows のサービス（Windows サービス、Internet Information Service など）での利用において、外字出力には対応していません。
23. 透かしの配置を最背面に設定した場合、印刷を行うアプリケーションによっては、透かしが他のデータの背面に配置され見えない状態になることがあります。
24. 透かし文字列のフォントとして「Roman」など fon 形式フォントを選択した場合、PDF 出力に失敗し、PDF が出力されない、もしくは 0 バイトの PDF ファイルが残ります。
25. PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。Windows においてファイル名に使用できない 9 種類の記号 ¥ / : * ? “ < > | が印刷ジョブ名に含まれている場合、PDF Driver はこれらの記号を「_」（0x5F）に置換し PDF ファイル名とします。
26. PDF Driver は印刷ジョブ名を PDF ファイル名としています。印刷ジョブ名に制御コード（0x01～0x1F）が含まれる場合、これを半角スペースに置換し PDF ファイル名とします。
27. グレースケールあるいはモノクロ変換設定でかつ PDF ファイルを透かしとして指定している場合、透かし部分はグレースケールおよびモノクロ変換は行われません。
28. Web フォントを使用した Web ページの PDF 出力には対応していません。
29. Windows のバリアブルフォントには対応していません。
30. 設定オプション「文中の URL にリンクをつける」について、URL 文字列内に改行が存在したり、印刷を行うアプリケーションの仕様により印刷データとして URL アドレスの終端までをひとまとまりの文字列として扱われていない場合に、正しくリンク設定が行われません。
31. PDF ファイルを「透かし」とする場合、PDF バージョンは「PDF のバージョン」で指定する PDF バージョンと同一、もしくはそれ以下の PDF バージョンのファイルを指定してください。
32. 「PDF のバージョン」に「PDF2.0」を指定したとき、「透かし」として PDF を指定する場合は PDF2.0 のファイルを使用してください。
33. 「PDF のバージョン」に「PDF/A-2b」を指定しカラープロファイルが「CMYK」、かつ「圧縮」タブで「JPEG2000」を指定している場合、JPEG2000 ではなく JPEG 圧縮が行われます。カラープロファイルが「RGB」の場合は JPEG2000 圧縮が行われます。
34. Word と Excel において、ファイルの用紙サイズ設定が「Letter」であるときに「A4」のページサイズで PDF 出力される場合があります。Word／Excel のオプション「詳細設定」において、「A4 または 8.5 x 11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する」という設定が有効であるとき A4 サイズとなります。Letter サイズで PDF 出力する場合はこの設定を無効にしてください。
35. PowerPoint ファイルのスライドの印刷の向きが「横」の場合、印刷設定の「用紙設定」で「サイズ指定」したとき、PDF ではページサイズの幅と高さが入れ替わった大きさになります。
36. ２つの画像を SRCAND のラスタオペレーションで印刷する処理に対し、PDF Driver では「Blend Mode」という描画方法で PDF に変換しています。「Blend Mode」は「PDF1.4」以降の仕様であるため、「PDF バージョン」が「PDF1.3」設定では、一方の上に他方がのった状態で出力されます。また、透過が禁止されている「PDF/A-1b」「PDF/X-1a」「PDF/X-3」設定の場合も、一方の上に他方がのった状態で出力されます。

6.3. Office アドイン機能の制限事項

※OEM ライセンスでは、Office アドインはオプション機能です。

1. PDF Driver の出力結果は、オペレーティングシステム（OS）の種類やバージョンや更新、印刷を行うアプリケーションの更新やバージョンアップにより、出力 PDF の内容が更新／バージョンアップ前の結果と異なる、あるいは元文書のレイアウトやデザインと異なる、PDF 変換できない、Office アドイン変換のオプションが効かない、印刷速度が遅くなるなど印刷品質に影響が出る場合があります。
2. Microsoft 365 や、お店やオンラインショップなど小売りで購入できるライセンス版（retail 版）の場合、頻繁に更新が行われます。Microsoft 365 では、機能の追加が行われる場合もあります。Office アドイン機能への影響が確認されたとき、それらにすぐに対応できない場合があります。
3. Word 文書において「変更履歴の記録」が付与されている場合、見出しの PDF しおりへの変換やハイパーリンクの変換などが正しく処理されない場合があります。その場合、Word 文書において変更履歴を「承諾」する処理を行い保存した、変更履歴を持たないファイルにした後、アドイン変換を行ってください。
4. PDF のリンクとして出力されるハイパーリングは以下の種類です。
   - 文書内の別ページへ移動するリンク
   - URL へのリンク
   - 電子メールアドレス

5. 文書内を移動するリンク、URL リンク以外のハイパーリンクについては、リンク情報が正しく出力されない場合があります。
6. 以下のようなハイパーリンクを含む文書を PDF 出力すると、ハイパーリンクの指定範囲（＝リンク枠の位置）が不正になることがあります。
   - 改行を含む文字列にハイパーリンクの指定がある場合
   - 縦書き文書内でハイパーリンクを指定した場合
   - ハイパーリンクを付加した Word アートや図形に「折り返しの種類と配置」機能等を加えた場合
   - HTML のブラウザでの表示結果を Word に貼付した場合
   - Word 文書内の画像やオートシェイプに設定されたハイパーリンク

7. Excel ファイルのシートにおいて印刷範囲が設定されている場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。
8. Excel ファイルのシートにおいてヘッダに印刷タイトルとして「行」「列」タイトルが指定されている場合、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

9. Excel ファイルにおいて保護シートが存在する場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。

10. Excel ファイルにダイアログシートが含まれている場合、ダイアログシートより後ろのシートに対しては、しおりやリンクの出力、コメントの注釈の作成はできません。該当するファイルの場合は、アドイン出力開始時に警告メッセージが表示されます。
11. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/A あるいは PDF/X のとき、「コメントをノート注釈に変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。
12. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/A のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」設定でアドイン変換を実行した場合は、印刷途中で失敗するため PDF ファイルが出力されません。
13. 印刷設定の PDF バージョンが PDF/X のとき、「元の Word/Excel/PowerPoint ファイルを添付する」、「リンクを出力する」、「相互参照と目次をリンクに変換する」、「脚注をリンクに変換する」設定でアドイン変換を実行した場合は、出力される PDF ファイルは PDF/X の仕様の範囲外となります。
14. PowerPoint アドイン変換において、表の中の文字列に設定されたハイパーリンクを PDF のリンク注釈として正しく出力できません。
15. Word 文書上に隠し文字が存在する場合、しおりやリンクは作成されません。
16. Word 文書において、図形内の見出しはしおりに変換されません。
17. Excel の HYPERLINK 関数によるリンクは PDF のリンクに変換されません。

7. 旧バージョンとの違い

7.1. PDF Driver について

7.1.1. プリンター名、プリンターモデル名

V6.0	Antenna House PDF Driver 6.0
V7.5	Antenna House PDF Driver 7.5
V8.0	Antenna House PDF Driver 8.0

7.1.2. 設定ファイルの拡張子

V6.0	printSetting3
V7.5	ps4
V8.0	ps4

7.1.3. 機能

7.1.3.1.出力対応している PDF バージョンと規格

V6.0	PDF1.3～PDF1.7 PDF/A-1b:2005 PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003 PDF/X-3:2002、PDF/X-3:2003
V7.5	PDF1.3～PDF1.7 PDF/A-1b:2005、PDF/A-2b PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003 PDF/X-3:2002、PDF/X-3:2003 PDF/X-4:2008
V8.0	PDF1.3～PDF1.7、PDF2.0 PDF/A-1b:2005、PDF/A-2b PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003 PDF/X-3:2002、PDF/X-3:2003 PDF/X-4:2008

7.1.3.2.セキュリティ設定の種類

セキュリティの種類は、指定された PDF バージョンにより自動的に決定されます。

V6.0	40bit RC4、128bit RC4、128bit AES、256bit AES
V7.5	40bit RC4、128bit RC4、128bit AES、256bit AES
V8.0	40bit RC4、128bit RC4、128bit AES、256bit AES

7.1.3.3.同一名のファイルが存在する場合の動作オプション

V6.0	設定項目名：同名のファイルがある場合、上書きする ・有効な場合：無条件に上書きする ・無効な場合：保存ダイアログを表示する
V7.5	次の 4 項目から選択する ・ダイアログを表示する ・上書きする ・連番[(1),(2)...]を付ける ・出力しない（エラーにする）
V8.0	次の 4 項目から選択する ・ダイアログを表示する ・上書きする ・連番[(1),(2)...]を付ける ・出力しない（エラーにする）

7.1.3.4.色変換

V6.0	-
V7.5	グレースケール変換、モノクロ変換
V8.0	グレースケール変換、モノクロ変換

7.1.4. 動作環境

V6.0	Microsoft Windows 10 Microsoft Windows Server 2019 / 2016
V7.5	Microsoft Windows 11 / 10 Microsoft Windows Server 2022 / 2019 / 2016
V8.0	Microsoft Windows 11 / 10 Microsoft Windows Server 2025 / 2022 / 2019 / 2016

7.1.5. 開発環境

V6.0	Microsoft Visual Studio 2010
V7.5	Microsoft Visual Studio 2015
V8.0	Microsoft Visual Studio 2015

※ 付属 API の旧バージョンとの相違点については、『Antenna House PDF Driver V8.0 付属 API 説明書（AHPDFDriver80_付属 API 説明書.pdf)』をご参照ください。

８．商標と著作権情報

８．１．　商標情報

Adobe、Acrobat、および Reader は、アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、OpenType は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

TrueType は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

その他記載されている全ての会社名および製品名は、個々の所有者の登録商標または商標です。

８．２．　第三者製ライブラリー著作権情報

- libtiff

Silicon Graphics has seen fit to allow us to give this work away. It is free. There is no support or guarantee of any sort as to its operations, correctness, or whatever. If you do anything useful with all or parts of it you need to honor the copyright notices. I would

also be interested in knowing about it and, hopefully, be acknowledged.

The legal way of saying that is:

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that

(i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND,OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS,WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- zlib

(C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

- BOOST

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute,

execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by

a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE,

ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE

SOFTWARE.

- picojson

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- POCO C++ LIBRARIES

THE BOOST SOFTWARE LICENSE 1.0

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a

source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

※　その他、PDf Driver のインストールフォルダ内のドキュメントをご参照ください。

履歴

日付	更新内容
2022.10.6	・初版
2023.3.28	・「6.2.PDF Driver の制限事項」に 1 項追記しました。
2023.6.9	・「8.2.第三者製ライブラリー著作権情報」に「POCO C++ LIBRARIES」の項を追加しました。改訂 12（8.0.12.0）以降で使用しています。
2023.11.15	・「2.1.動作環境」の「対応 OS」項に注意書き「※」を追加しました。 ・「6.1.付属 API の制限事項」を修正しました。 ・「6.2.PDF Driver の制限事項」を修正しました。
2024.3.13	・「2.1.動作環境」を修正しました。
2024.3.22	・「6.3.Office アドイン機能の制限事項」を追加しました。
2024.6.10	・「6.制限事項 - 「6.2.PDF Driver の制限事項」の(1)の説明文を修正しました。 ・「6.3.Office アドイン機能の制限事項」に(1)、(2)項を追加しました。
2024.10.9	・「4.1.PDF Driver のインストール方法」 - 「4.1.2.インストール手順」において「※２」を追加しました。 ・「6.制限事項 - 「6.2.PDF Driver の制限事項」に「36」を追加しました。
2025.1.20	・「2.1.動作環境」:「Server 2025」を追加しました。
2025.5.1	・「6.3.Office アドイン機能の制限事項」:「2.」の説明を修正しました。

Antenna House PDF Driver V8.0

製品説明書　2025.5.1

© Antenna House Inc. 2022-2025 All Rights Reserved.